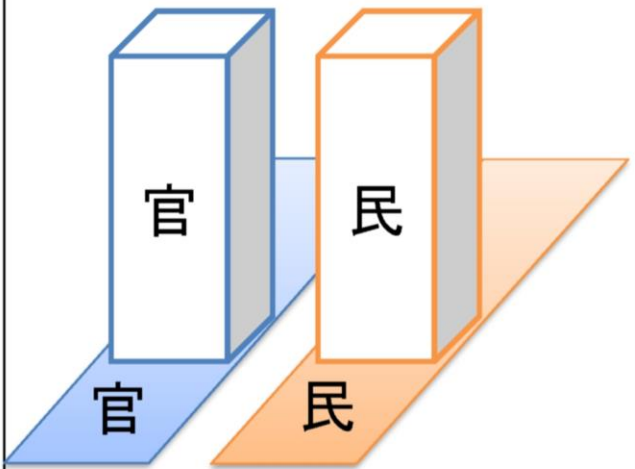
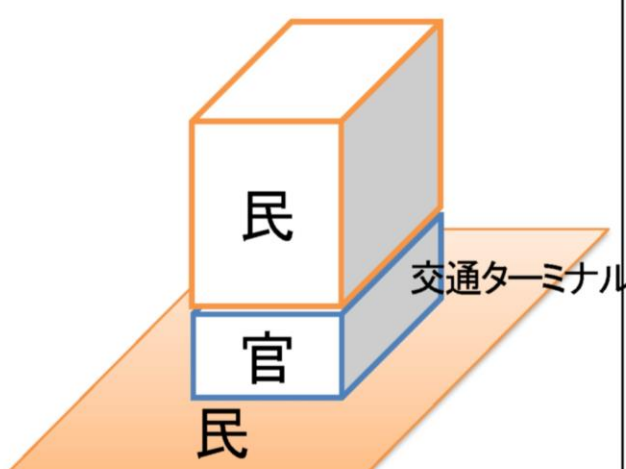
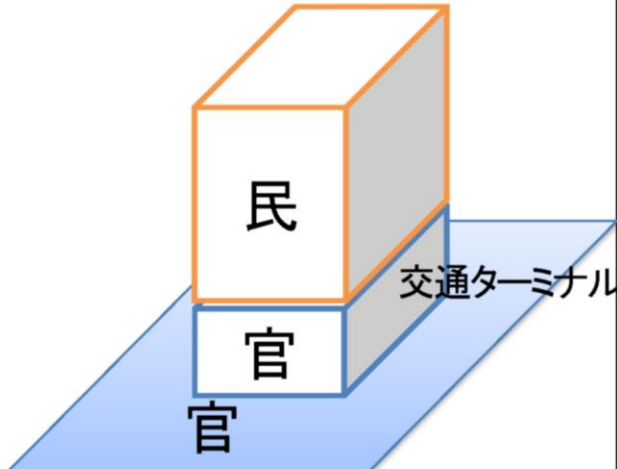


管理・運営手法

1. 管理・運営
2. 官民連携の考え方

1. 管理・運営

- 官民連携による交通拠点の整備について、官民の役割分担の考え方を整理
- 官民連携について様々な事業手法を検討し、設計施工などどの段階から民間事業者の資金やノウハウを活用するか検討を行なう。

パターン1 (官民が各敷地で事業)	パターン2 (民間事業内の空間で官事業)	パターン3 (官事業内の空間で民間事業)
(例) 品川 交通ターミナル デッキ等 民間開発 (再開発ビル等) 	(例) 神戸三宮、呉 	(例) 追浜、新潟、 四日市、呉 
官・民がそれぞれの敷地内で事業を実施 (用地取得を含む)	民間事業内の空間を 国が一部取得して、 国事業を実施	官事業内の空間を民間 が一部取得して、 民間事業を実施

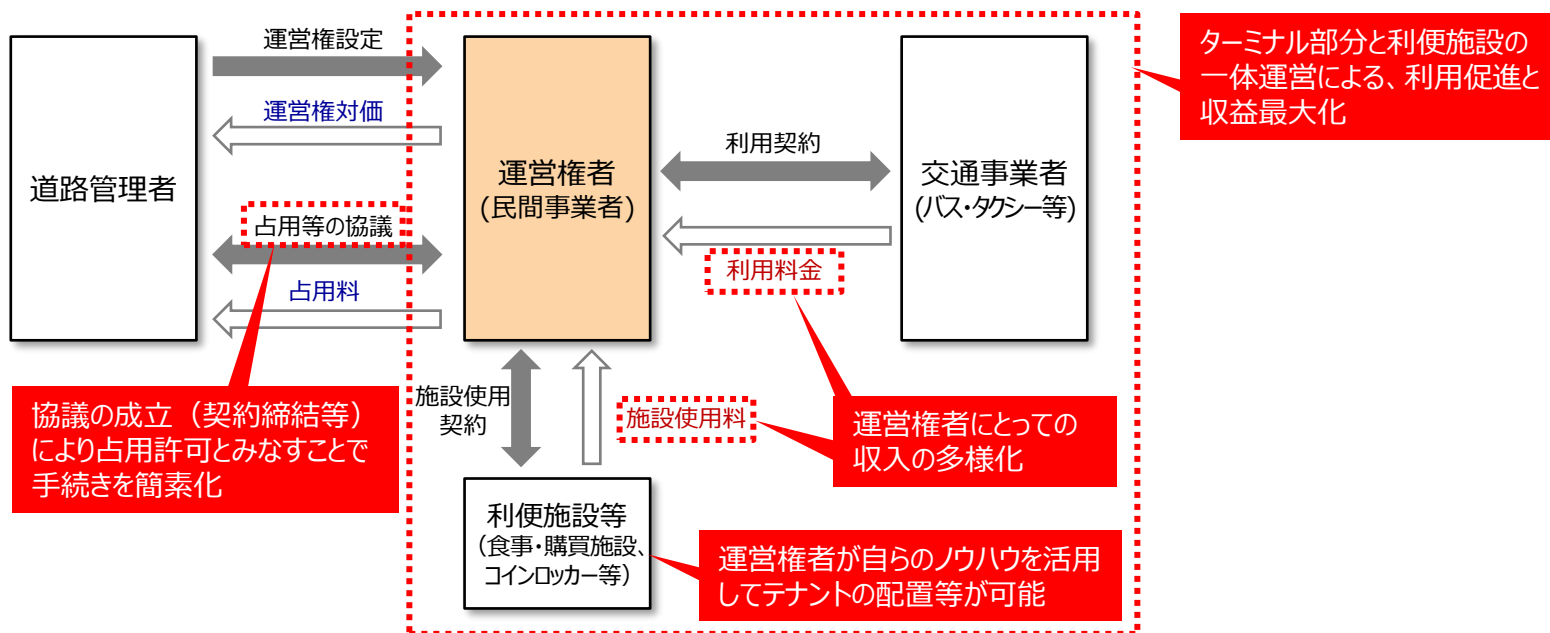
1. 管理・運営

○道路法の改正によって、特定車両停留施設においてコンセッションの導入が可能となるなど、民間ノウハウを活用しやすい環境が整いつつある。

■コンセッション制度の概要

- 道路法改正（令和2年5月）によって、特定車両停留施設で、施設の管理運営を民間事業者等が行う「コンセッション（公共施設等運営権）制度」を活用可能。
- コンセッションは、利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定し事業を行う方式。
- 公的主体が所有する公共施設等について、民間事業者による安定的で自由度の高い運営を可能とすることにより、利用者ニーズを反映した質の高いサービスを提供。

【特定車両停留施設におけるコンセッション制度の活用イメージ】



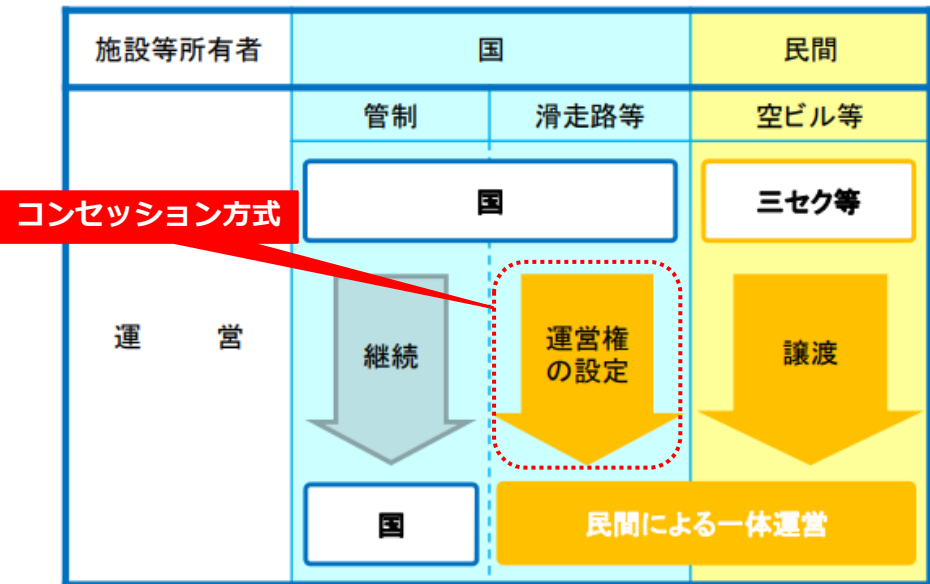
1. 管理・運営

■ 国管理空港（高松空港）におけるコンセッション方式等の導入

- 国管理空港としては仙台空港に次いで国内2番目に、コンセッション方式等の民間委託を導入（H30.4運営開始）。
- 民間による創意工夫を活かした一体経営を実現し、着陸料等の柔軟な設定等を通じた航空ネットワークの充実、魅力的な商業施設づくり、地域共生等による内外の交流人口拡大等を通じた地域活性化を推進。

<コンセッション方式のスキーム>

- ・運営権者は、国から公共施設等運営権の設定を受けることにより滑走路等の運営を実施、三セク等の株式を取得することによりターミナルビル等の運営を実施。
- ・運営権者は、着陸料その他の収入を設定・収受し、これらの収入により事業実施に要する費用を負担する。



出典：国土交通省航空局「国管理空港における経営改革の概要」



出典：国土交通省航空局「高松空港における空港経営の民間委託の推進」 3

2. 官民連携の考え方

○交通拠点とまちづくりに係る内容が多岐にわたるため、地域との連携のあり方について検討を行う。

エリアマネジメント

市民・企業・NPOなどが主体的な担い手となって地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための取り組み

